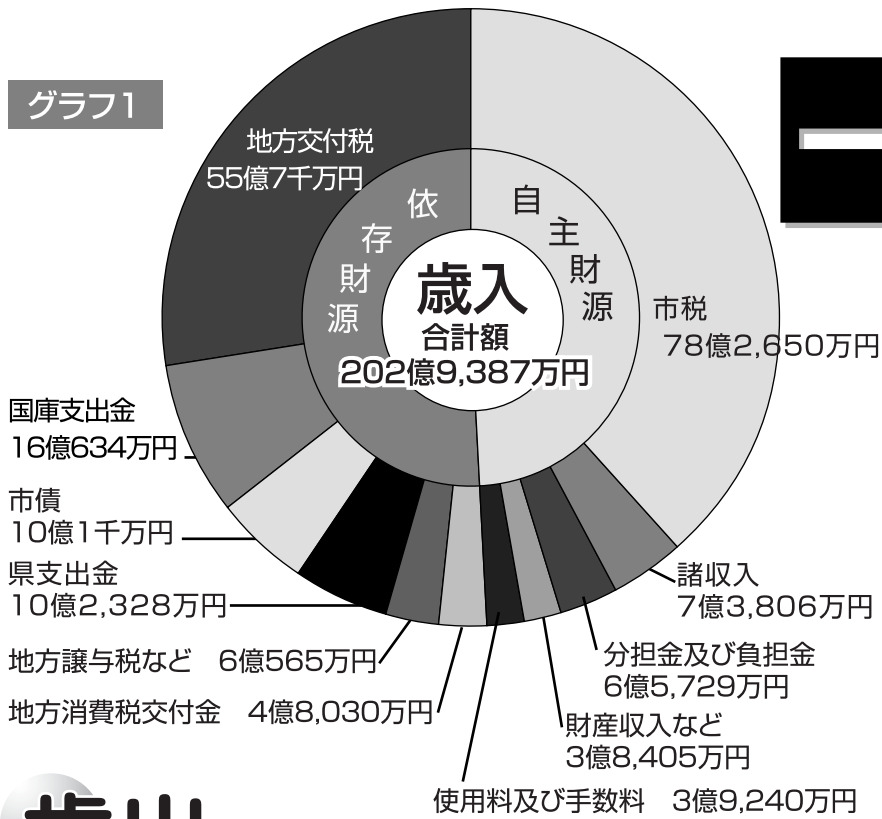


一般会計

グラフ1



歳入

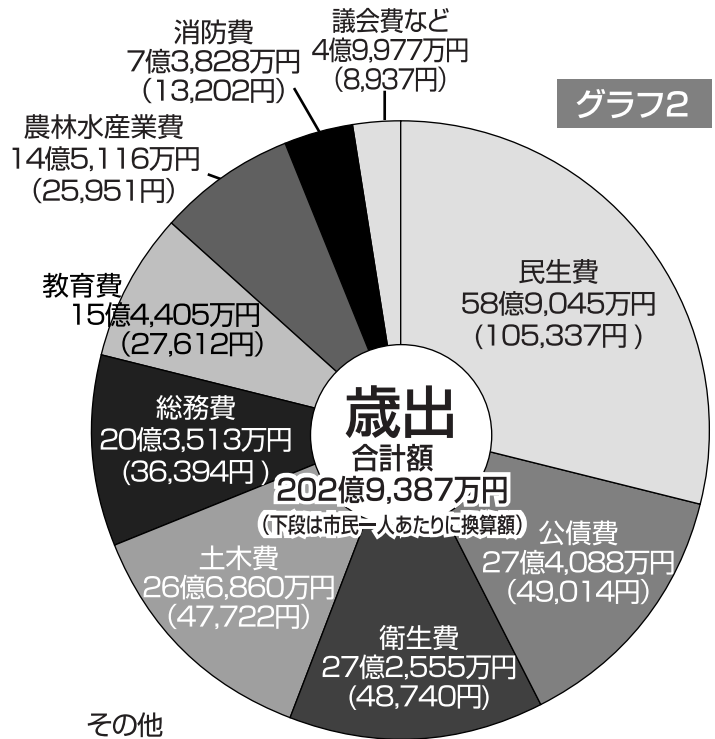
は、市に入ってくるお金です。グラフ1のとおり、固定資産税や個人市民税及び法人市民税などの市税が全体の4割に近い額を占めています。続いて多いのが地方交付税で、約56億円となっていますが、平成18年度決算と比較し約1.5億円の減少となっています。

自主財源の比率は、前年度比0.8%のプラスとなり49.3%となっています。

歳出

は、市民の皆さんに対して使われるお金です。グラフ2をみると、民生費が一番多く、福祉を充実させるために多くのお金が使われていることがわかります。これに公債費、衛生費、土木費が続いています。骨格予算のため歳出全体では、前年度当初に比べ約9億円のマイナス（予算ベース）になっています。

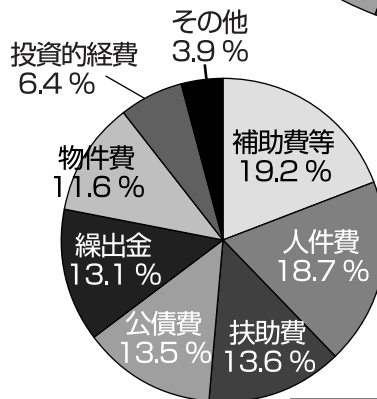
グラフ2



Category	Usage Description
消防費	消防や防災事業などに使われるお金
農林水産業費	漁業・農業の振興などに使われるお金
教育費	学校・図書館などの運営や施設を維持していくためのお金
総務費	市の運営のために使われるお金
土木費	道路や港を建設・修繕するためのお金
衛生費	ごみの処理やリサイクル、環境対策に使われるお金
公債費	市の借入金金の返済をするためのお金
民生費	子育て支援、高齢者対策などの福祉に使われるお金

歳出の性質別内訳

グラフ3のうち、物件費は物品の購入や業務委託などに、扶助費は福祉に、投資的経費は道路や施設の建設のために使われるお金です。また、繰出金は企業会計（水道、病院）や特別会計へ支出され、その会計の公的性格上、その会計収入で賄えない部分を補っています。



グラフ3

市民一人あたりに使われるお金
362,909円

市民一人あたりの市税
139,959円

人口55,920人で算出